



遠泳大会が快晴の下、良き思い出を残して、無事に終わりました。

「遠泳大会」について、これまでの学校要覧で調べたところ、昭和44年から学校行事として、記載されていました。そこで、表の標題を「52年の歴史を持つ伊子茂湾横断遠泳大会」としました。

しかし、地域の高齢の方から本大会についてお話を伺ったところ、60年近く、または、それ以上の歴史があることが分かりました。その頃の中学生は、自由参加で、現在の5マイル前海岸付近から勢里の海岸までの遠泳をしていたそうです。また、別の方からは、50年位前の大会では、小学生は、栈橋から飛び込んで5マイル前海岸付近まで泳いだということでした。

この歴史ある「伊子茂湾横断遠泳大会」を持続するためには、学校、保護者、地域がしっかりと協力し合うことが大前提だと思います。これからもどうかよろしく願いいたします。



【児童生徒の遠泳大会の感想】

- 初めてやって、1 km泳ぐことができました。
- 少し緊張して、ちゃんと泳げたかは分かりませんでした。実際に泳いでみて、楽しかったかなと思いました。
- ペースを落とすことなく、ゴールすることができました。
- 泳いでいるときに、クラゲに刺されて痛かったけれど、頑張って、ゴールまで泳ぎ切ることができました。
- 練習より楽しそうに泳げ、いつもより早いペースで泳げました。
- 一人一人に伴泳がついていたから、安心して泳げました。
- 1年生のときは、お父さんに引っ張ってもらったりしたけど、今年はビート板一本で泳いだので、自分でも頑張れたと思います。
- 深いところなので、ビート板が離せなかったけど、最後まで泳ぎ切れてよかったです。
- ビート板なしで、栈橋の岩のところまで泳げました。
- 最初は少し速いかなと思っていましたが、そのペースで疲れずに最後まで泳げました。来年にも生かしたいと思います。

